

今年の夏は暑かった連日
ニュースで「観測史上最高
気温」と出て、毎日のように記
録更新を重ね
ている。「異常気象」という言葉も当たり前
のように耳にするようになった。



ぼくは、夏休みの自由研究で、様々な土
場所の気温を調べた。その中で、日か
けのアスファルトと木かげのアスファルトの温
度を調べ、比べてみた。するとなんと、10度
近く差があったのだ。これには見間ちが
いかと思うくらいおどろいた。同じ「かげ」
ではあるが、コンクリートでできた日か
けと自然の木がつくってくれる木かげとで
は、こんなに大きな差があることを知り、
自然の力は本当にすごいんだなと改め
て感じた。

ほくは、これまで木を大事にあり
という意識があまりなかった。



山の近くで生活するほくにあって
「木なんていくらでも無限にある」

と思っていた。でも今回の自由石研究を
通して、「地球上に木があるから、地球の
温度が下がり、人間が快適にすごせる。
その木は無限になんてないし、地球上
の木がなくなったら、ほくたちは生きていけ
ない」ということがよく分かった。そして、ほく
たち人間は、もっと木のありがたさを矢口らな
いといけなないと思った。だからほくは、決
めた。もっとべん強して、自然を守る方法を
身に付けたり、木をふやす方法を考えたりしたい。
そして、今のほくにできること。それは、まだ
な物を出すことなく、ごみをへらすこと。



これならできそうだ。地球上の
木たちへ。今は、くたちが生きていられ
るのは、あなたたちがいるおかげで
す。本当にありがとう。

与名間分校四年角川悠晴